

1 指定管理者名	社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会
2 指定期間	平成28年4月1日 ～ 平成33年3月31日
3 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4 採点表											
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況 (10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%以上 5点	開館時間中(10:00～18:00)自由来館となっている。	-		
					平均値比(●●%)=利用率(●●%)÷上記(1)、(2)又は(3)						
			②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%未満～95% 4点				
					平均値比103%=利用人数(H29来館者数述べ10,372人)÷(H28年度来館者数平均値10,083人)(上記(2)適用)						
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(1年間にわたり、月5回程度開催、計60回1,237名参加) ・児童を対象とした事業(1年間にわたり、月5回程度開催、計65回659名参加) ・地域・多世代間交流事業(1年にわたり、計4回開催、523名参加) ・中高生事業(1年間にわたり、計9回開催、64名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進事業(1年間にわたり、月2回程度開催、計28回344名)	仕様書以上 13点	・仕様書以上の事業を展開できた。 ・ベビーマッサージ、ベビーヨガのスキルを向上させ、0歳児のクラブに役立てた。 ・地域の大きな催し物に積極的に参加し、小学生クラブの目標として置くことで、子ども達のモチベーションをあげるきっかけとした。また、中学生ボランティアを地域に紹介する場にもなった。	13点		
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計52回開催、述べ約1,103名参加) ・児童を対象とした事業(計35回開催、述べ約429名参加) ・地域・多世代間交流事業(計33回開催、述べ約406名参加) ・中高生事業(計3回開催、述べ約11名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進事業(1年間にわたり、計10回149名)	期待以上 13点	全体的な評価 ・新規事業として親育ち4363関連「新米ママたいむ」を年間10回実施し、初めての子育てに悩んでいる母親が、様々なことを相談でき、子育てに前向きになれる場を提供した。 ・多治見市の推奨する親子さんぽをクラブ化し(27年度より)、「おさんぽマップの親子で歩こうコース」を実際に歩きながら、見て、聞いて、ふれあう時間を提供できた。 ・児童対象の事業では、他団体(まちづくり市民会議、母親クラブなど)の支援や地域の寄付で無料で事業を行い、大勢の参加があった。(ハロウィン、木工工作、まめまき会など)	13点		

4 採点表		評価項目		細目		配点		採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点	
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	・定期清掃・日常清掃を行い、適正に環境整備を行った。 ・棚、倉庫整理を行い、不要と思われるものは廃棄した。	適正 (普通) 2点	・適正に実施した。	10点						
			②保守・点検			・電気工作物・運動遊具の保守点検は委託により実施。館庭整備の一部は委託により実施。	適正 (普通) 2点	・適正に実施した。							
			③保安・警備			・非常通報装置・消防用設備の保安点検は委託により実施。夜間の館内警備については委託により実施。	適正 (普通) 2点	・適正に実施した。							
			④小規模修繕			①窓ガラス修繕 22,680円②雲梯錆取り、ペンキ塗り 4,608円③館庭コンクリート製遊具ペンキ塗り 699円 ④幼児室引き戸修繕2枚 47,000円⑤遊戯室天井等蛍光灯交換 14,143円⑥上がり口坂穴埋め 1,032円 ⑦屋外一輪車練習場整備 12,693円 ①～⑦については10万円未満であったため、仕様書の定めにより指定管理者の負担で修繕を行い、利用者にとってより良い環境づくりに心がけた。	適正 (普通) 2点	・修繕箇所が発生した場合は、速やかに対応した。							
			⑤危険箇所の把握 (施設の瑕疵)			・業者による安全点検を実施 ・毎月1回職員による安全点検で危険箇所を把握し、改善できる箇所は速やかに対応している。	適正 (普通) 2点	・適正に実施した。							
		(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・文書目録に基づき管理している。	適正 (普通) 2点	・文書目録に基づき管理している。	11点						
			②環境への配慮			・多治見市の環境方針に準じ対応している。紙はリサイクル紙、裏紙を使用している。 ・市役所や他の児童館等の連絡事項はメールで対応し、紙の利用を控えている。 ・冷房、暖房は適正な温度に設定し、環境に配慮している。 ・夏季はプールの水で水打ちをし、暑さ対策をしている。 ・市配布のゴーヤに加え、ミニメロンを植栽して、子ども達と植物の成長を見守りながら、自然の力を利用した省エネを実践した。 ・工作、プレゼントは牛乳パックなどの廃材を利用するなど、資源ごみのリサイクルを実施している。	適正 (普通) 2点	・適正に実施した。							
			③バリアフリー			・玄関、幼児室入り口に段差プレートを設置。 ・福祉体験で来館者と共に手話について学習した。	期待 以上 3点	・福祉体験を実施しており、期待以上の取組							
			④備品管理			・備品台帳に沿って適正に管理している。	適正 (普通) 2点	・備品台帳に沿って適正に管理した。							
			⑤個人情報保護			・社会福祉協議会として「個人情報保護管理規定」を制定し、適正に管理している。	適正 (普通) 2点	・適正に実施した。							
		⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	・なし	事故なし・対応に不備なし 0点	・社会福祉協議会内での事故報告は、全職員に周知し情報を把握した。特に児童館に於いての事故は会議で詳細を説明し、事故防止につなげるようにした。								
	3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	10,854,300÷8,428,171=129%	105% 以上 5点	・指定管理委託料の範囲内で適正に事業を行なった。 ・職員配置に伴う人件費が下がった。	5点						

4 採点表											
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点	
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	・アンケートボックスを設置し、随時意見を受け入れると共に、クラブや行事後に個々にアンケートを実施した。意見は謙虚に受け止め、高評価を得たものは、より一層工夫をして次に繋げている。	期待以上 8点	・定期的なアンケートの実施し利用者の意見を聞く機会を設け、事業に反映させることができた。		8点	
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	・苦情なし	苦情なし・適正(普通) 4点	・社会福祉協議会として、苦情申出窓口を設定し、苦情対応責任者、苦情受付担当者、第三者委員を設け対処している。		4点	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント (15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	・館庭の草刈は、職員がほぼ毎日草刈機を用いて行った。 ・蚊の発生を少しでも抑えるため、週に1度、溝消毒を行った。 ・遊戯室の壁のはがれ、汚れを目立たなくするため、ウォールシールを貼り、見栄えをよくした。 ・多治見警察署職員による防犯訓練を行い、適切な事故防止や対応を学んだ。 ・頻繁に猫が館庭に入り、糞尿の被害があるため、砂場の周りに人工芝を敷き、砂場カバーも子どもでもきちんと掛けられるものに変えた。 ・月に1回、東山(49区)で乳幼児対象と小学生対象に移動児童館を行った。 ・講師を招いて実技研修を行った(AED、支援児対応)。 ・児童厚生員東濃ブロック研修、毎月の代表者会議、年2回の常勤職員会議、職員交換研修を行い、各館との交流、ヒヤリハットなどを周知している。 ・他館及び、7館合同の連携事業を行った。	期待以上 15点	・利用しやすく、清潔で印象の良い環境作りを実施している。 ・移動児童館を行うことによって、なかなか来館できない低学年の子ども達に児童館を知ってもらい、大きな季節行事際の参加者数につなげている。 ・共栄母親クラブが設立され、クラブ員は様々な奉仕活動、地域交流、講習会などにより地域ボランティアとしての意識を向上させた。 ・7館合同事業にファミリーの参加が目立ち、父親参加の足がけとなった。また、児童館を知らない方への周知にもなった。		15点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし		遅れ・不備なし 減点なし	・適正に実施した。		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし		指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	・適正に実施した。		
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下					87点	
										極めて良好	
								全体的な評価 ・来館者数が減少する児童館が多い中、前年度並みの来館者数をいじ・増加させている点を評価。 ・日常管理をこまめに丁寧に行っている点も評価 ・29年度は母親クラブの立ち上げ、子育て相談事業の自主事業実施を評価		極めて良好	